

評価基準表

※の評価項目はヒアリング実施時に審査する

評価項目	提案書類	評価の視点・判断基準	配点
組織評価	履行実績 (同種業務)	業務実績調書 (様式ウ) 提案者が過去5年間(平成27年度以降)に完了した同種業務の実績について評価する。 10点: 5件以上 8点: 4件 6点: 2~3件 4点: 1件 0点: 0件	10
	履行実績 (類似業務)	業務実績調書 (様式ウ) 提案者が過去5年間(平成27年度以降)に完了した類似業務の実績について評価する。 5点: 5件以上 4点: 4件 3点: 2~3件 2点: 1件 0点: 0件	5
担当者評価	主任担当者の 履行実績 (同種業務)	配置予定者調書 (様式エ) 主任担当者が過去5年間(平成27年度以降)に担当した同種業務の実績について評価する。 10点: 3件以上 6点: 1~2件 0点: 0件	10
	履行実績 (類似業務)	配置予定者調書 (様式エ) 主任担当者または担当者(再委託等による担当者を含む。)が過去5年間(平成27年度以降)に担当した類似業務の実績について評価する。 5点: 3件以上 3点: 1~2件 0点: 0件	5
※実施方針等評価	(ア) 業務実施方針	本業務の目的、重要度、条件、内容等の理解度を評価する。 10点: 非常に優れている。 8点: 優れている。 6点: 本業務に支障がない程度である。 4点: 劣っている。 0点: 非常に劣っている。	10
	(イ) 業務実施体制	提案資料 (任意様式) 本業務を進めるにあたっての業務従事者の経歴や配置等の実施体制について評価する。 10点: 対応が非常に期待できる。 8点: 対応が期待できる。 6点: 本業務に支障がない程度である。 4点: 対応が不安である。 0点: 対応が非常に不安である。	10
	(ウ) 業務の実施手法	本業務の工程計画について、業務フローが本業務と整合しているか、業務量や進捗を把握できるものになっているか評価する。 10点: 妥当性が非常に高い。 8点: 妥当性が高い。 6点: 本業務に支障がない程度である。 4点: 妥当性が低い。 0点: 妥当性が非常に低い。	10
※提案内容評価	(ア) 調査・分析	調査・分析の手法・進め方が論理的・合理的であるか評価する。 10点: 妥当性が非常に高い。 8点: 妥当性が高い。 6点: 本業務に支障がない程度である。 4点: 妥当性が低い。 0点: 妥当性が非常に低い。	10
	(イ) 計画策定	地区の課題を的確に把握しており、まちづくりの方向性や具体的な施策は、先進性と地域特性を踏まえた実現性を併せ持っているか評価する。 20点: 非常に優れている。 16点: 優れている。 12点: 本業務に支障がない程度である。 8点: 劣っている。 0点: 非常に劣っている。	20
		計画の構成及び計画策定の具体的なプロセスについて、論理的・合理的であるか評価する。 20点: 非常に優れている。 16点: 優れている。 12点: 本業務に支障がない程度である。 8点: 劣っている。 0点: 非常に劣っている。	20
	(ウ) 合意形成	関係者の意見の反映方法等、合意形成の進め方について評価する。 10点: 非常に優れている。 8点: 優れている。 6点: 本業務に支障がない程度である。 4点: 劣っている。 0点: 非常に劣っている。	10
合 計			120

※最も優れた提案の評価が同点になったときは、提案内容評価の点が高い者をもって受託候補者に特定する。
さらに、提案内容評価が同点になったときは、参考見積額の低い者をもって受託候補者に特定する。